

ここでも地球環境基金への募金が…

第22回 ばらサミット in いわみざわ

バラを「市町村の花」として制定したり、バラが広く住民に愛好されている地方自治体が、年に1回開催している「ばら制定都市会議(ばらサミット)」。第22回は北海道岩見沢市のいわみざわ公園で7月11~12日に開催されましたが、この会場に地球環境基金の募金箱が設置されました。



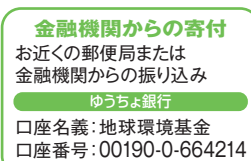
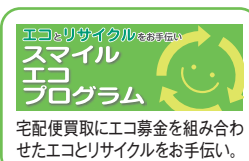
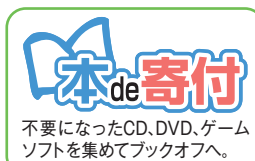
募金された方にいちご大福をプレゼント

募金箱が設置されたのは、いわみざわ公園の「レストハウス・ハマナスの丘」内にあるショップ「工房こぶし・いこい」の店頭。11日は100個、12日は80個のいちご大福が用意され、地球環境基金に募金をされた方に数量限定でプレゼントされました。

雪氷熱利用システムで栽培されたイチゴを使用

当日プレゼントされたいちご大福は市内のカワダ製菓がつくったもので、中に入っているイチゴは雪氷熱利用システムで栽培された“雪ん娘”が使われています。道内有数の豪雪地帯である岩見沢市は雪氷熱利用に積極的に取り組んでおり、品質の高い夏イチゴの栽培にもその技術が活かされています。おいしくて、しかも環境にやさしいハウスで育ったイチゴのお菓子は、募金のお礼にぴったりのプレゼントになりました。

ご寄付のお願い 地球環境基金への寄付を通して、環境NGO・NPO活動をご支援ください。

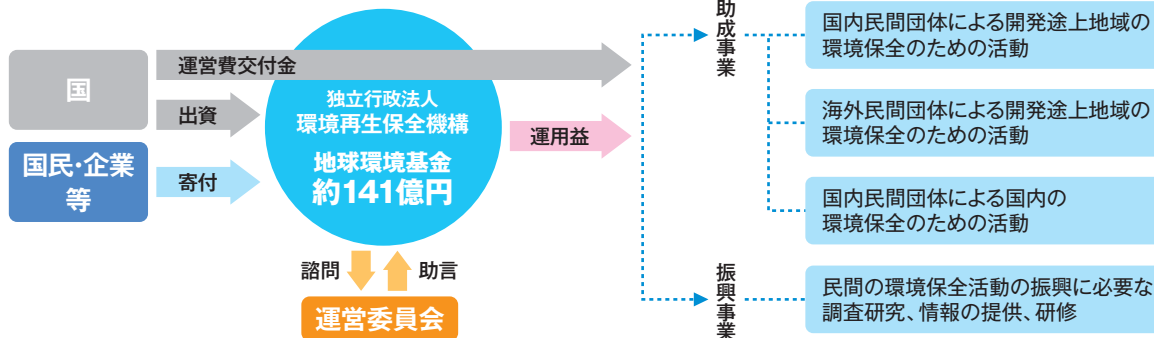


ご寄付の方法は様々です。詳しくは、ホームページをご参照ください。 <http://www.erca.go.jp/jfge/>



地球環境基金とは

環境再生保全機構は、国の出資金と民間からの寄付金により「地球環境基金」を設け、その運用益と国からの運営費交付金により、国内外の民間団体(NGO・NPO)が行う環境保全活動に資金の助成等を行っています。



イベント情報

地球環境基金は、本年も代々木公園で開催された「エコライフフェア2013」に出展し、多くの方々からエコアイデアをいただきました。秋は日比谷公園で開催されるグローバルフェスタに出展する予定です。



地球環境基金創設20周年!

地球環境基金が創設されて2013年5月に20周年を迎えました。基金創設20周年を記念したシンポジウムを11月29日(金)に東京国際フォーラムで開催する予定です。また、これまでの基金事業を総括し成果や実績等を取りまとめた「20周年誌」や「DVD」を現在制作しています。



編集後記

35号は「環境保全活動に取り組むシニアの方々」を特集しました。緑豊かな地球をより健全な状態で次世代に継承するために、国内外で環境保全活動が行われています。環境に取り組むシニアの方々の豊かな経験と環境への思いをお伝えできれば幸いです。